

TOYAMA Volley Ball Association News

平成17年10月 Vol.7
発行 / 富山県バレーボール協会

第26回 北信越国民体育大会



北信越国体を振り返って

西川 友之

去る8月26日～28日まで黒部市総合体育センターにおいて第26回北信越国民体育大会が開催された。昨年はブロック代表として1チームも本国体に送ることが出来ず悔しい思いをした。本年は地元開催でもあり、必ず代表を送ろうとこの1年間強化に取り組んできた。結果は決勝戦に4代表が進出したが、惜しくも、成年男子9人制しか岡山行きの切符を手にすることが出来なかった。北陸電力(成9男)は条件が恵まれないにもかかわらず2000年国体当時の力を発揮し見事リベンジを果たした。しかしながら確実視されていた黒部アクアがPFU(石川)に完敗した。昨年の雪辱を果たそうとしていただけに誠に残念である。また公開競技として開催されたビーチバレーでは、本県の兜山知佳子・佐野保子ペアが1位になり岡山行きの切符を手にした。通称「ミニ国体」も第6巡目に入り、各県協会もかなり力を入れてきており、勝つことがいかに至難なことであるか教えられた大会であった。

さて、運営に携わって頂いた県協会役員、地元黒部市の皆様、勤務日にもかかわらず体育館を貸与して頂いたYKK黒部事業所様はじめ関係各位に心からお礼を申し上げます。また、応援に駆けつけて頂いた多くのバレーボールの方々に心からお礼申し上げます。

表彰者

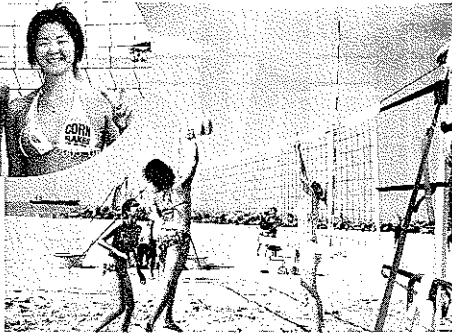
これまでのご尽力とご功績に対し、次の方々が表彰を受けられました。(10月末日現在)

- 瑞宝双光章
- 飯田 英明 氏
- 東 宗幸 氏
- (財)日本バレーボール協会表彰
- 北信越バレーボール連盟
- 川上 宣彦 氏
- 貫田昭紀子 氏

活動アラカルト

岡山国体にむけて

ビーチバレー 兜山知佳子



今回、ビーチバレー競技の北信越大会で優勝し国体出場を決めました。ビーチバレーは夏季国体の公開競技となり、北信越大会から1ヶ月もせずには本番を迎えますがとても楽しみです。北信越大会では、格上の相手が多く、正直言うと、まさか優勝す

るとは思ってもいませんでした。とにかく、今まで地道に岩瀬浜で毎週練習してきたことをミスなく確実にやるだけ、そして挑戦者として無欲で闘うだけでした。北信越の大会当日は、天候も少々崩れ気味でしたが、地元のビーチ仲間の声援をうけて勝利できたことは自信につながりました。3勝目を果たした対長野戦はこのペアでビーチを闘った中では最高の出来だったと思います。国体本番では、更なる課題を克服して、対戦相手や天候などよりも、自分に負けないように精一杯競技してきます。

晴れの国おかやま国体

北陸電力 上野 利克

平成17年10月22日からいよいよ「晴れの国おかやま国体」の秋季大会が開催され、我々のチームとしては2年ぶり7回目の国体出場となります。

思えば北信越国体での優勝は、初心に戻って徹底的に繋ぎのバレーを全員が一丸となり練習したこと、チームが一体感となり、失いかけた自信を取り戻すことができました。おかやま国体では1回戦から出場し香川県と対戦しますが、どこが相手であろうとこれからも練習を重ね技術力と精神力、そして自信を更に深



めて本来の北電バレーを発揮できれば結果はおのずとついてくると思うので、少しでも上位に入賞できるように頑張ります。応援よろしくお願ひします。

岡山国体に向けて

富山選抜 主将 田畑 都紀

(高岡商業高校)



私たちは、3校からの選抜チームとして、バレーボールに大切なチームワークを作ることを課題として練習してきました。今まで違うチームだった人たちが集まり、同じチームカラーになると言うことはとても難しく、上手いかないこともありません。その度に声を掛け合い、話し合うことを何度も重ねていき、今では良いチームを作ることができました。一人ひとりがエースであり、レシーバー・セッターでありチームワークを大きな武器にして上位進出を目指し頑張ります。

また、このような機会を作っていただいた人たちに感謝をし、富山県代表として、岡山県の人たちにバレーボールの楽しさを伝えられるような戦いをしてきたいと思えます。

第25回記念ペブシカッフ

全日本バレーボール小学生大会

福光東部ジュニアバレーボール教室 岩城 栄吉

今年は、3年ぶりの全国大会出場でした。5年生主体ですが過去に出場したチームより、攻守のバランスが整っていてどれくらい通用するのか楽しみでした。

今年は、4戦中1勝しか出来ませんでした、この猛暑の中で戦い抜いたことは、とてもよい経験になりました。また、我がチームの負けた3チーム全てが最終日の準々決勝に残り、その中に優勝したチームがいるということも今までにない経験です。

選手村での4日間の生活も子供達にとって初めての体験であり、特に食事は全チームが同じ食堂でするので順番に押し出されて行きます。そのため子供達は、食べることに集中し早く食べられるようになり、食べる量も増えて入村時から比べる別人のようになりました。全国大会に出場した子供達は、心身共にひとまわりもふたまわりも成長したように思います。これからは、子供達の体を父母と一緒に勉強しながら管理して、大きく育てて、大きな夢に向かって行きたいと思っています。

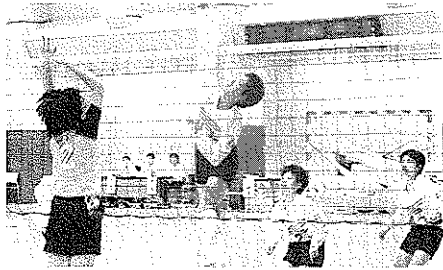


十二町サンシャイン 浦山 瑞子

長い間、私が待ち続けた全国大会がついに始まりました。全国のレベルがどのようなものか、自分たちが練習して来た事はどれだけ通用するのか知りたくて、出場が決定してからは毎日熱が入る練習でした。

そんな思いで迎えた一日目の開会式。選手の入場行進と誓いの言葉に、感動で胸が一杯になりました。ホテルでのミーティングでは、全国に連れてよかった、一生の思い出が出来たと喜び、選手達は早く試合がしたいと言っていました。

二日目、試合会場は東京体育館、天井の高さと、コートは充分すぎる広さに戸惑い一戦目沖縄代表との試合は何をしたのか覚えてないくらい早いゲームでした。サーブの連続ミスがあり、カットミスと自分たちでリズムに乗れないまま、二戦目の千葉代表では応援団の多さにびっくりしたのでした。三日目の会場は稲城市総合体育館で広島代表・群馬代表と戦いましたが、自分たちの全ての弱さが出てしまい初の全国大会は一勝も出来ずに終わってしまいました。



これからは、勝つためにプレッシャー、メンタルを鍛えてもう一度夢をつかみこのコートに立たせてやりたいと思います。

全国大会への道のり

富山市立奥田中学校 山本 恒嗣

本校バレーボール部は、県大会で優勝し、全中出場をかけて北信越大会に臨みました。

初戦は、石川の志雄中学に、二回戦は新潟の弥彦中学に快勝しましたが、準決勝では、長野の裾花中学に敗れ、代表決定戦に望みを託しました。相手は、福井の東陽中学です。一セットをあっさりとりられ、全中への道も途絶えたかと思われました。しかし、保護者や富山県の他校の選手のみなさんの熱烈な応援で落ち着きを取り戻し、二、三セットを連取して、念願の全中出場を決めました。

全中では、決勝トーナメントにまで進出できましたが、力の差を痛感させられました。今後は、サーブカット等に練習の重点を置き、さらに強いチームを目指します。



JOCカップ第19回全国都道府県 対抗中学バレーボール大会

1 役員

団長 西川 友之 (県バレーボール協会 理事長)
副団長 細野 義隆 (県中体連バレーボール専門部部長)
老月 守 (県バレーボール協会 副理事長)
総監督 竹内 康彦 (県中体連バレーボール専門部 委員長、鷹施中)
総務 宮本ふみ江 (県中体連バレーボール専門部 JOCカップ主務、和合中)

2 スタッフ

監督 (男子) 宮本 浩哉 (庄西中)
コーチ 西出 篤史 (平 中)
マネージャー 酒井 直人 (小杉中)
アシスタント・コーチ 小畑 真美 (牧野小)
監督 (女子) 竹内 康彦 (鷹施中)
コーチ 宮本ふみ江 (和合中)
マネージャー 池淵 直人 (芝園中)
アシスタント・コーチ 竹脇 孝志 (岩瀬中)
アシスタント・コーチ 伊勢威知郎 (新庄中)

3 選手

番号	氏名	学年	学校名
①	宮井 良輔	3	桜井
2	川口 剛史	3	小杉南
3	藪谷 友昭	3	小杉南
4	川腰圭二朗	3	小杉南
5	安井 令	3	小杉南
6	中陳 拓磨	3	桜井
7	黒田 尚樹	3	富山北部
8	涌波 大輔	3	小杉南
9	永森 貴博	3	小杉南
10	前本 優馬	3	小杉南

番号	氏名	学年	学校名
①	水野 智美	3	桜井
2	大場ちひろ	3	富山北部
3	八十島 唯	3	桜井
4	武田 彩花	3	富山北部
5	角間 光	3	水見北部
6	吉川ひかる	3	戸出
7	河西 祐衣	3	和合
8	山崎 怜奈	3	氷見北部
9	黒川愛由美	3	鷹施
10	鍛冶 葉月	3	奥田
11	橋本 愛衣	3	奥田
12	田畑 早紀	3	大沢野

全日本9人制実業団選手権大会

三協アルミ 監督 市井 政行

7月29日～8月1日愛媛県で開催された、全日本9人制実業団男子選手権大会に出場しました。

1試合目は大光自動車(宮崎県)との対戦。立ち上りはまずまずで、なんとかサーブで崩し主導権を握りたいと思いましたが、逆にサーブレシーブの崩れからミスが続き、徐々に点数が離れて1セットを先取され、2セット目もそのまま勢いに乗った相手を止めきれず2-0で敗れました。

敗者復活戦は三島市役所(静岡県)との対戦で、センター攻撃の高さとサーブの強さで押し切られ、予選リーグ敗退となりました。目標にしていた2年連続の予選突破は出来ませんでした。認識させられ、今後の課題が明確になった大会でした。

社団法人 全国旅行業協会 会員
財団法人 富山コンベンションビューロー 賛助会員
富山スポーツ・コンベンション実行委員会

各種スポーツ大会の
宿泊・交通・お弁当の
手配はお任せ下さい

富山県知事登録旅行業 第3-226号

有限会社 **タイセイツアーズ**

〒939-2306 富山県富山市八尾町井田5516-1
TEL:076-455-8211 FAX:076-455-8222
e-mail: taiseico@topaz.ocn.ne.jp
ホームページURL: <http://www.cty8.com/taiseico/taisei.html>

香取県人制バレーボール クラブカップ女子選手権大会

監督 山崎 信義
TLC

今年で4年連続出場で、会場は香川県高松市、終わった直後に感じたことは、面白い、悔しい、凄いい、楽しい、でもお金が掛かるだった。今年はメンバーにも恵まれて最高のチーム状態で高松へ向かった。予選グループ戦は群馬教員チーム、決勝トーナメント一回戦は鳥取教員、二回戦は静岡女子教員、何故か教員チームばかりと対戦した。今までは決勝トーナメント一回戦で負けていたが、今年はこの壁をやっと乗り越えることが出来た。全国で一勝することの大変さを痛感した。全国は広い、いろんなチームが我々に沢山のことを教えてくれる。今年の大会でプロックとコンビが全国でも通用した事が我々の大きな自信となった。しかし、サーブ、サーブレシーブに課題を残したが収穫の多い大会でもあった。

今回の経験を生かしさらに選手と共に「攻めて勝つ」バレーをこれからも極めていきたい。



香取県人制バレーボール クラブカップ男子選手権大会

監督 中山 正浩
TTC

予選グループ戦は清水倶楽部。夜行列車で到着した者だけでなく、レギュラー全員の動きが鈍

い。第1セットを失い、第2セットからエンジン全開のはずが、勢いに乗った相手にいいようにやられてしまった。敗者戦の相手は、地元秋田の稲川倶楽部。これは何とかストレート勝ちし、決勝トーナメントへ進出。決勝トーナメントは1回戦、強豪の兵庫教員。前日とは違って変わって絶対調で、第1セットは大接戦の末落としてしまったが、第2セットは取り返した。しかし、第3セット終盤で集中が切れ、秋田の夏は悔しい思いを残すものとなってしまった。勝てば上位進出のチャンスがあったのに残念である。来年こそは、ベスト8の壁を突破したい。

香取県人制バレーボール クラブカップ女子選手権大会

高岡クラブ
高田 昌実

クラブカップ全国大会出場は、私達チームにとって一番の目標でした。ベストメンバーが揃わないまま望んだ県予選でしたが、「全国大会出場」という強い思いでチーム一丸となり、何とか予選突破する事ができました。決戦の場は鳥取県。1回戦の相手は金沢フレンドズでした。隣の県のチームという事でよく知っている相手だけに、絶対勝つという思いで望んだ試合でしたが、敗退。敗者復活戦も残念な結果となりました。



しかし、全国の中でレベルの高い試合を体感し、自分達の弱点を再確認できた事は大きな収穫になりました。この大会で得た事を今後の高岡クラブのカラーに生かし、これからも頑張っていきたいと思えます。

香取県人制バレーボール クラブカップ男子選手権大会

高岡鳳凰会
足立 洋道



今年のクラブカップは、高岡鳳凰会の10年表彰により幕が開けた。10年連続15回目の出場。10回出場しているチームは多いが、10年連続出場しているチームは数少ない。それ程10年連続出場とは容易い事ではないのである。その自信を胸にベスト8を目指し臨んだ今大会であった。しかし、思いとは裏腹に予選から苦戦を強いられた今年の大会は、決勝トーナメント2回戦敗退という悔しい結果に終わった。

全国大会ではすっかり常連となった高岡鳳凰会。これからは全国大会「上位」の常連となり、富山県のバレーボールのレベルの高さを全国に轟かせられるよう日々練習に励み頑張っていきたい。

全日本6人制バレーボール クラブカップ女子選手権大会

監督 山崎 信義
TLC

今年で4年連続出場で、会場は香川県高松市、終わった直後に感じたことは、面白い、悔しい、楽しい、楽しい、でもお金が掛かるだった。今年はメンバーにも恵まれて最高のチーム状態で高松へ向かった。予選グループ戦は群馬教員チーム、決勝トーナメント一回戦は鳥取教員、二回戦は静岡女子教員、何故か教員チームばかりと対戦した。今までは決勝トーナメント一回戦で負けていたが、今年はこの壁をやっと乗り越えることが出来た。全国で一勝することの大変さを痛感した。全国は広い、いろんなチームが我々に沢山のことを教えてくれる。



今年の大大会はプロックとコンビが全国でも通用した事が我々の大きな自信となった。しかし、サーブ、サーブレシーブに課題を残したが収穫の多い大会でもあった。今回の経験を生かしさらに選手と共に「攻めて勝つ」バレーをこれから極めていきたい。

全日本6人制バレーボール クラブカップ男子選手権大会

監督 中山 正浩
TTC

予選グループ戦は清水倶楽部。夜行列車で到着した者だけでなく、レギュラー全員の動きが鈍

い。第1セットを失い、第2セットからエンジン全開のはずが、勢いに乗った相手にいいようにやられてしまった。敗者戦の相手は、地元秋田の稲川倶楽部。これは何とかストレート勝ちし、決勝トーナメントへ進出。決勝トーナメントは1回戦、強豪の兵庫教員。前日とは違って変わって絶好調で、第1セットは大接戦の末落としてしまったが、第2セットは取り返した。しかし、第3セット終盤で集中が切れ、秋田の夏は悔しい思いを残すものとなってしまった。勝てば上位進出のチャンスがあったのに残念である。来年こそは、ベスト8の壁を突破したい。

全日本6人制バレーボール クラブカップ女子選手権大会

高岡クラブ
高田 昌実

クラブカップ全国大会出場は、私達チームにとって一番の目標でした。ベストメンバーが揃わないまま望んだ県予選でしたが、「全国大会出場」という強い思いでチーム一丸となり、何とか予選突破する事ができました。決戦の場は鳥取県。1回戦の相手は金沢フレンズでした。隣の県のチームという事でよく知っている相手だけに、絶対勝つという思いで望んだ試合でしたが、敗退。敗者復活戦も残念な結果となりました。



しかし、全国の中でレベルの高い試合を体感し、自分達の弱点を再確認できた事は大きな収穫になりました。この大会で得た事を今後の高岡クラブのカラーに生かし、これからも頑張っていきたいと思えます。

全日本6人制バレーボール クラブカップ男子選手権大会

高岡鳳凰会
足立 洋道



今年のクラブカップは、高岡鳳凰会の10年表彰により幕が開けた。10年連続15回目の出場。10回出場しているチームは多いが、10年連続出場しているチームは数少ない。それ程10年連続出場とは容易い事ではないのである。その自信を胸にベスト8を目指し臨んだ今大会であった。しかし、思いとは裏腹に予選から苦戦を強いられた今年の大会は、決勝トーナメント2回戦敗退という悔しい結果に終わった。全国大会ではすっかり常連となった高岡鳳凰会。これからは全国大会「上位」の常連となり、富山県のバレーボールのレベルの高さを全国に轟かせられるよう日々練習に励み頑張っていきたい。

平成17~18年度 富山県バレーボール協会役員

会長	東 宗幸	米屋 正治	鍛治 武二
副会長	池田 英彦	瀬川 健正	八箇 雅男
	藤山 慎一	高田 勝敏	中沖 克美
	横山 平男	板屋 清孝	磯野 くに子
	細野 義隆		
	飯田 英明		
	松崎 義彦	立島 真	
監事			
理事長	西川 友之	老月 守	赤川 治
副理事長	奥村 祐年		
	中村 敏幸		
常務理事	岡田 正樹	中田 重徳	打越 富美夫
	七澤 孝吉	布村 忠弘	長谷川 弘和
	喜多 進	野原 修	稲積 信一
	竹内 康彦	明野 美和子	川島 進
	橋本 清美	金子 雅信	新酒 直幸
	角 輝彦	吉村 政彦	屋 博明
	津 修	永原 義久	野田 清重
	宮林 孝夫	林 由紀夫	塚田 三四
	河合 豊	布村 章弘	荒木 修身
	辻澤 康雄	岡部 享	高 修
	林 成佳	三見 洋子	

鳴子の音が胸に響いて

喜楽クラブ 田中久美子

家庭を持ってから全国大会には縁がないと思っていました。が、県予選を勝ち抜き土佐の高知へいざ出陣！さすが、各県を代表するチーム、それぞれ個性的で粘り強いバレーをしているのが印象的でした。私達は大会に向けての十分な練習量がとれずにいましたが、試合をするごとに結束していった「チームワーク」が大きな収穫となりました。

また、交歓会では鳴子を持って参加全チームが踊り、高知の心意気を肌で感じ、忘れられない思い出です。一生に一度きりの全国大会を満喫できました。



た事、留守番をしてくれた家族、応援して下さいました皆様に感謝いたします。ありがとうございました。

子供から大人まで、世界中をワクワクさせる技術を追求しています。



たったひとつのボールが、世界中の人々の胸を熱くさせる。
 たったひとつのボールが、言葉の壁を越えて心を通わせる。
 たったひとつのボールが、少年に生きる喜びを教えてくれる。
 国境を越え、文化を超えて、

地球をエキサイティングな気持ちで満たしたい。
 これがわたしたちモルテンのテーマです。

モルテンは、世界のスポーツエキップメントをハイスタンダードでリードします。

- Volleyball : Vリーグ公式試合球
- Soccer : Jリーグ
日本サッカー協会主要6大会唯一の公式試合球
- Basketball : FIBA / JBL / WJBL 主催大会唯一の公式試合球
- Handball : 日本リーグ唯一の公式試合球

molten

株式会社モルテン www.molten.co.jp
 東京本社 〒130-0003 東京都墨田区横川五丁目5-7

- 《国内》 札幌 仙台 北関東 東関東 西関東 北信越 名古屋 大阪 大坂西 広島四国 福岡 沖縄 東京本社
- 《海外》 Molten U.S.A. Molten Europe Regional H.Q. Molten Europe Molten Sports (UK) Molten Asia Molten Thailand